

諏訪東京理科大の小川准教授研究室が開発

電極素材実用化へ起業

大和電機工業とベンチャー

公立諏訪東京理科大(茅野市)と機能めつき加工の大和電機工業(諏訪郡下諏訪町)は21日、同大の小川賢准教授の研究室が開発した新たな電極素材の実用化に向け、ベンチャー企業「ZUKUtec」(茅野市)を合同で設立したと発表した。急速充電が可能で安全性が高い電池の商品化につなげるため、新会社を通じて試作などを加



新会社の代表執行社員に就いた大和電機工業の原社長(左)と小川准教授

速。ハイブリッド車や住宅用の蓄電池への採用を目指す。新たな電極素材「層状複水化合物」はニッケルをベースに鉄やアルミなどで構成。リチウムイオン電池の発火事故が増える中、安全性の高い電池を作ろうと2年前に開発に着手した。小川准教授によると、新素材を使った電極は水酸化物イオンを取り入れる速度が速く、既存製品の10倍ほどの充電速度が見込めるとい

う。電池を小型化しにくい面はあるものの、可燃性の電解液を使わないため安全性が高

いとしている。大学の設備では製品化を検討する企業などにサンプルを供給することが難しかったため、開発や試作で連携していた大和電機工業に相談し、ベンチャー企業を設立した。新会社は同大に拠点を置き、大和電機工業の原雅広社長が代表執行社員に、小川准教授が業務執行社員にそれぞれ就任。新会社が大和電機工業に素材の粉末や電極の製造を委託し、メーカーなどに販売する。既に複数の電池メーカーや研究機関などから試作を受注しているという。

経済信州発

妙高にラグジュアリーホテル

長野・新潟県境で再開発進めるPCGなど

シックスセンス妙高の完成予想図



電池メーカーができるとうれしい」と話した。同大発のベンチャー設立は5例目で、地元企業との連携は初めて。

長野・新潟県境エリアで大規模な再開発計画を進めるシ

ンガボールの不動産投資会社ペイシャンス・キャピタル・グループ(PCG)と、IHGホテルズ&リゾーツ(本社英国)は21日、新潟県妙高市の妙高杉ノ原スキー場にラグジュアリーホテル「シックスセンス妙高」を開業する計画だ。施設には二つのレ

ンチャー設立は5例目で、地元企業との連携は初めて。PCGは斑尾高原スキー場(飯山市・新潟県妙高市境)と妙高杉ノ原スキー場や両スキー場周辺の土地、斑尾高原ホテル(飯山市)、旧野尻レイクサイドホテル(上水内郡信濃町)跡地などを取得し、再開発計画を進めている。

遠隔で建設サービス刷新。シーティーエフは21日、建設現場をネット経由でライブ配信を刷新し、Aコネクツィオ(新潟県)と発表した。使いやすいうエラを標準で利用の画質や音質を



パッケージやロゴを一新した青倉米